

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 佐藤、阿部  
 直通：092-643-3597  
 内線：3386

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第4週（令和4年1月24日～令和4年1月30日）

福岡県感染症情報センター

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	5	56	206	600
レジオネラ症	1	1	14	67
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	5	16	66

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

### ■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	1	0.01	1.00	69	0.01
RSウイルス感染症	302	2.52	1.09	1,566	0.50
咽頭結膜熱	36	0.30	0.61	626	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	148	1.23	0.58	1,811	0.58
感染性胃腸炎	1,079	8.99	0.83	25,181	8.04
水痘	11	0.09	1.10	292	0.09
手足口病	18	0.15	0.49	1,005	0.32
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	48	0.02
突発性発しん	52	0.43	0.87	932	0.30
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	236	0.08
流行性耳下腺炎	2	0.02	1.00	76	0.02
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	3	0.00
流行性角結膜炎	3	0.12	0.60	114	0.17
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	2	0.13	1.00	10	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	4	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	4	0.01

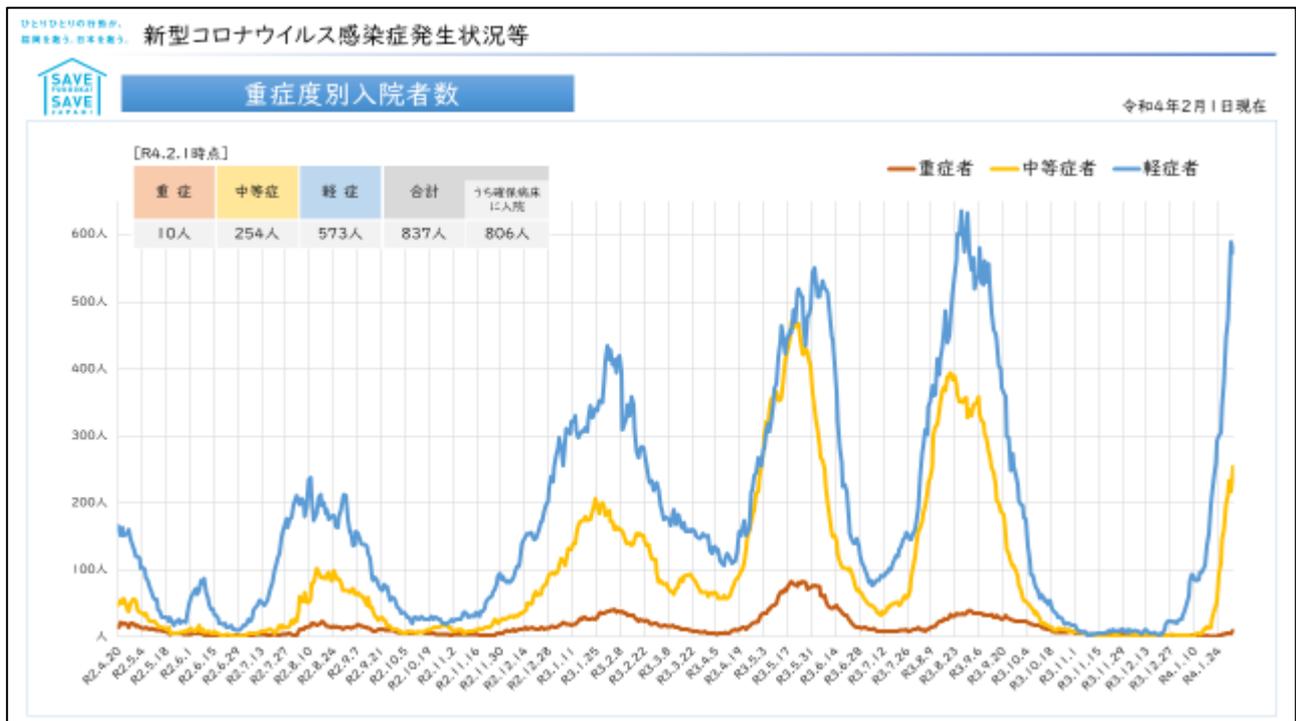
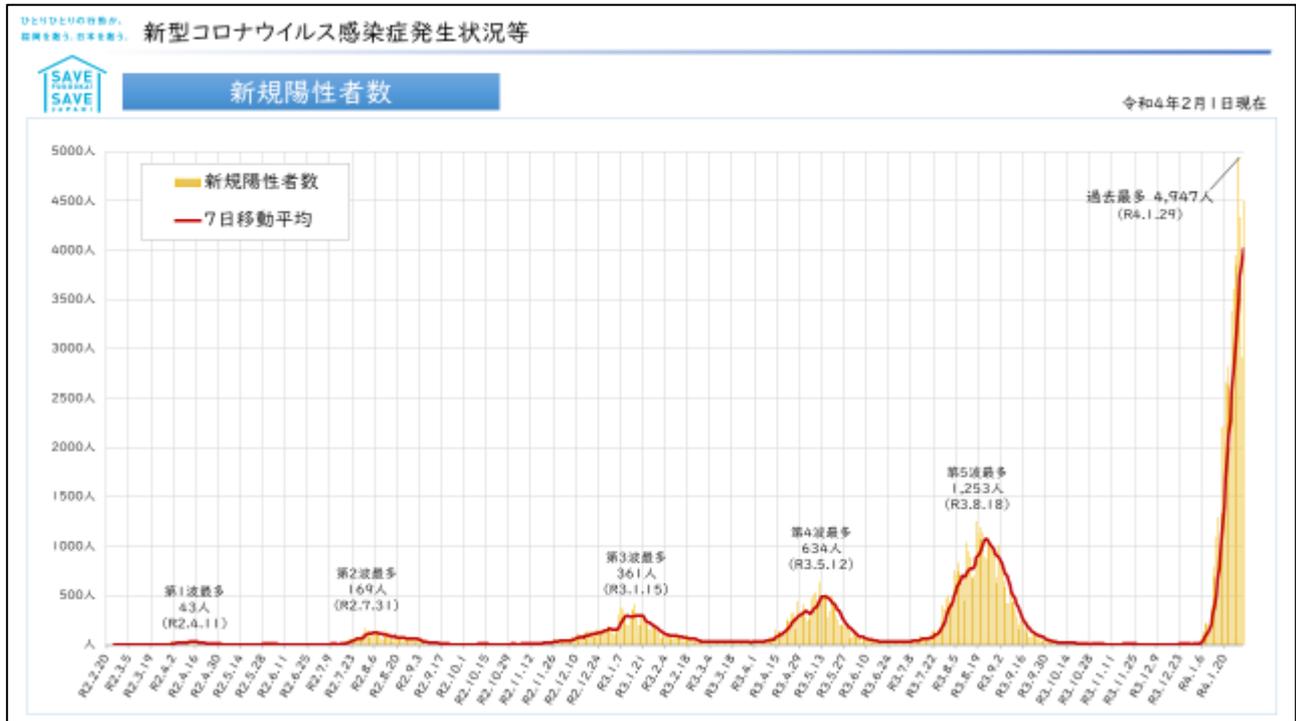
 : 警報レベル

 : 注意報レベル

### ■ コメント

- 先週に続き感染性胃腸炎の定点あたり報告数が全国（前週）に比べ多い状態が続いています。感染性胃腸炎の主な症状はおう吐と下痢で、発熱を伴うこともあります。気になる症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。感染性胃腸炎の最も有効な予防対策は「手洗い」です。トイレの後、調理前、食事の前は必ず流水と石けんで手を洗いましょう。また、感染しても発症しないことがあり、知らずに家庭内で感染を広げることがあります。日頃から手洗いを徹底することを心がけましょう。正しい手洗いについてはふくおかインターネットTV「正しい手洗いの仕方について」をご覧ください。（<http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/ja/movies/detail/3911>）
- 福岡県感染症情報ホームページ（[http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)）では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>